

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本 幸夫	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	県有林整備事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	森林資源の育成と、公益的機能の高度発揮を両立した森林の管理・経営を実践することにより持続的な森林経営の普及、啓発を図る。	
事業概要	県有林管理・経営計画に基づき、長伐期施業や複層林施業による森林資源の育成と公益的機能の高度発揮を両立した模範となる豊かな森林づくりを実践・先導し、民有林全体に広める。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	県有林の森林整備面積（累計）	目標値	500.0	540.0	
		実績値	476.0	509.7	537.3	571.8		
		達成率		101.9	99.5	98.6		%
	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00		
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	10,536	11,474
うち一般財源(千円)	4,314	7,708

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

造林補助事業（国庫）や森林整備加速化・林業再生事業（国保）を活用し572haの森林整備を行い、目標はほぼ達成した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

松枯れやナラ枯れ被害拡大を防ぐため、道路沿いを中心に被害木の駆除を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
80本近くのナラ枯れ被害木が発生している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
十分な駆除が特に道路沿い以外の区域で実施できず翌年の発生源となっている。
- ③原因を解消するための「課題」
ナラ枯れなどの被害拡大を防ぐためには、早期発見・駆除を行う必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

ナラ枯れや松枯れの発生時期の県有林内の巡視回数を増やし、早期発見・駆除を道路沿い以外の区域も含めて行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

森林・林道等の関係業務に使用しているショベルローダーが故障した。
今後、豪雨等による法面崩土や落石の対応や冬季の除雪に欠かせない車両であり、早急に修理が必要。
耐用年数は一般的に5年とされているが、既に購入から20年以上経過しており、車両の更新の検討を要する。